



より安全に、より美しく治す。

PicoWay[®] (ピコウェイ) 導入しました

当院形成外科では令和5年度に医療用ピコレーザー（PicoWay:ピコセカンドKTP/Nd:YAGレーザー）を導入しました。PicoWayは、ナノ秒よりもさらに短い数百ピコ秒（30億分の1秒）という極めて短いパルス発振により得られる高いピークパワーを有する医療用レーザー装置です。従来の光熱作用が少なく、光音響効果が優位になることにより、標的となる色素粒子をより細かく破砕します。そのため周辺組織へのダメージを最小限に抑えた治療を可能にします。

太田母斑、異所性蒙古斑、外傷性色素沈着症等さまざまな治療に対応可能

熱の影響なし

小さな粒子や色素にも反応

肌への負担が少ない

再生医療

(PRP療法)を
開始しました。

一般的な傷では、そこに血液中の血小板が集まり、止血を行うと同時に、組織の再生が行われます。自己多血小板血漿（PRP）療法は、この血小板の組織修復・再生促進機能に着目して、患者さん自身の血液から血小板を濃縮した血漿を作成して、創傷に用いることで創傷治癒を促進する治療で、再生医療のひとつです。治療の適応となる疾患は、褥瘡、静脈うっ滞性下腿潰瘍、糖尿病性潰瘍などの慢性創傷です。当院では2023年に再生医療等安全性確保法の施設認定を受け、PRP療法が可能となりました。

2024年から保険診療として形成外科でPRP治療を開始しています。



第21回 日本褥瘡学会 九州・沖縄地方会 学術集会

を開催いたします。

2024年4月27日(土)

会場 市民会館シアーズホーム夢ホール
(熊本市市民会館) 〒860-0805 熊本県熊本市 中央区桜町1番3号

会長 熊本赤十字病院 形成外科 部長 黒川 正人 副会長 熊本赤十字病院 看護部長 村田 美和

主催 日本褥瘡学会九州・沖縄地方会
<http://jokusou21.com/> 参加方法など詳しくはコチラ



熊本赤十字病院 熊本市東区長嶺南二丁目1-1
JAPANESE RED CROSS KUMAMOTO HOSPITAL TEL.096-384-2111

SNSでも最新情報を更新中です



webサイト



Instagram



YouTube



Facebook

●診療時間

[受付時間]

外来受付 / 8:30~11:30(9:00診療開始)

再来受付機 / 8:00~11:30

※診療科によって開始時間が遅れる場合もございますのでご了承ください。

[休診日] 土曜 / 日曜 / 祝日 / 年末年始(12月29日~1月3日)

急患については上記にかかわらず救命救急センターにて診察いたします。

発行: 熊本赤十字病院 患者サポートセンター(医療連携室)

発行日: 2024年2月

CROSS TIME

vol. 13
2024 Winter

Japanese Red Cross Kumamoto Hospital

特集
専門医のタッグで
拡がる乳房再建の選択肢

形成外科
形成外科 部長
黒川 正人



乳腺外科
乳腺内分泌外科 部長
川添 輝



熊本赤十字病院

患者サポートセンター(医療連携室)広報誌

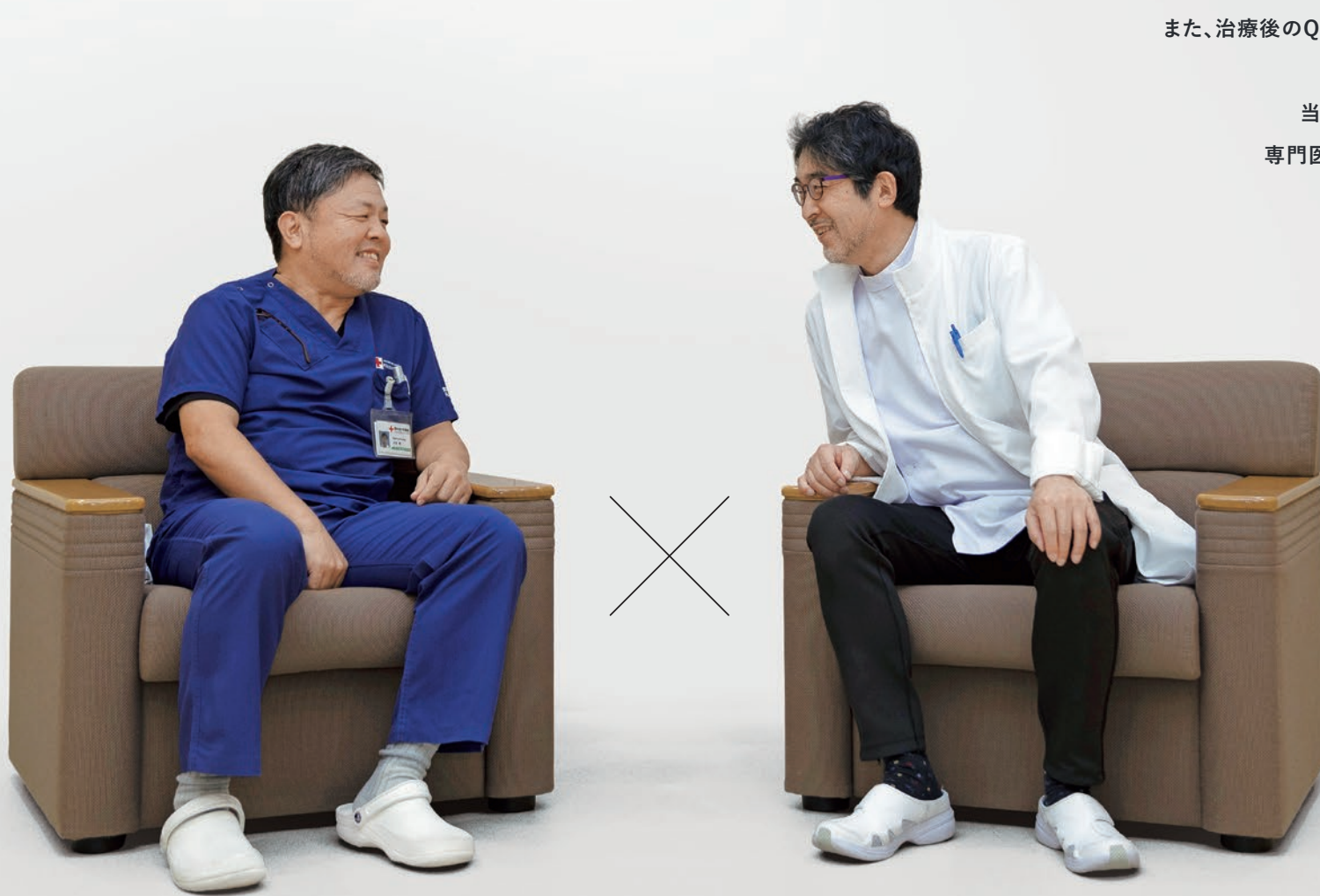
専門医の タッグで拡がる 乳房再建の選択肢



乳 腺 外 科

乳腺内分泌外科 部長
川添 輝 かわそえ てる

乳房再建には多くの選択肢があります。
実際には、医療機関ごとに提案される術式に違いがあったり、対応できない術式があることもあります。
当院は形成外科とのコラボレーションにより、様々な術式に対応できる熊本県下では数少ない医療施設です。
乳房再建術はすばらしい手術ですが、乳房を摘出された患者さんすべてが受けるべき、とは考えていません。患者さんご自身が納得して選択・判断することが何よりも大事です。失った乳房を取り戻すことで気持ちが明るくなり、患者さんのQOL(生活の質)が向上する、そうしたことが乳がん治療に前向きに取り組む原動力となればと考えております。



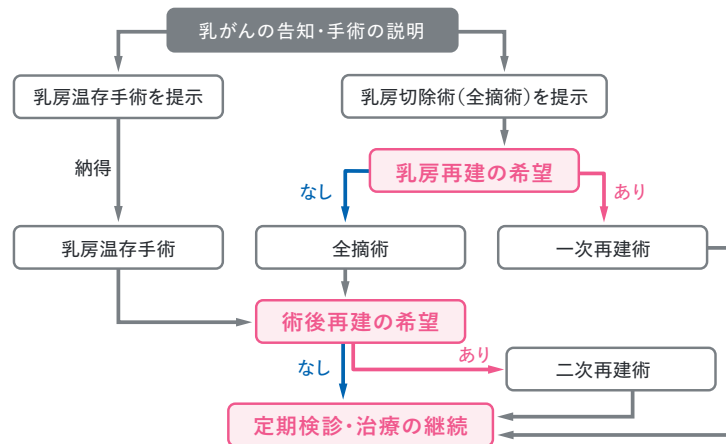
形 成 外 科

形成外科 部長
黒川 正人 くろかわ まさと

当院では乳腺外科と共同で、乳がんの患者さんに対する乳房再建を行っています。
再建時期は、乳腺外科による乳がんの手術と同時に再建を行う「一次再建」と、乳がん手術後に期間を空けてから再建を行う「二次再建」があります。
また、再建の方法は、人工乳房(インプラント)を用いる方法と自家組織(主に、広背筋と腹直筋、および筋肉を犠牲にしない穿通枝皮弁)による方法があります。
当科では資格を有しているため、どのような手術でも対応可能です。患者さんとよく相談し、患者さんの生活やその後の治療に適した方法を選んでいきます。常に患者さんファーストの治療を心がけて再建を行っていますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

〈乳がん治療から乳房再建までの流れ〉

※このフローチャートは乳がん治療の基本的な流れを示したものです。
患者さんによっては、術前/術後療法などが追加される場合があります。



乳房再建手術の最終仕上げとして、
乳房再建手術から6ヶ月程度経てば
乳頭・乳輪の再建を行うことができます。

〈再建の時期〉

当院は、乳腺外科専門医と形成外科専門医がともに常勤で連携しており、一次再建を含めた手術が一つの病院でできます。

一 次 再 建

乳がん手術と同時に再建を行う

メリット

- 手術の回数が少なく、身体的・経済的負担が少ない
- 乳房を失う喪失感が少ない

デメリット

- 乳房の形の希望などゆっくり考える余裕がない
- 実施可能な医療機関が少ない

二 次 再 建

乳がん手術後、しばらく経過した後に再建を行う

メリット

- 乳がんの治療に専念できる
- 乳房の形の希望などじっくり検討できる

デメリット

- 一次再建よりも手術回数が多くなり、身体的・経済的負担が多い
- 乳房を失った後の喪失感が大きい

〈再建手術の方法〉

自家組織による再建

一期的再建

1回の再建手術で乳房形成を行う方法

- 手術時間／4～10時間程度
- 入院期間／10～14日程度

◎ 広背筋皮弁
◎ 腹直筋皮弁
◎ 遊離皮弁(DIEP皮弁など)
顕微鏡を用いて血管吻合を行います。
(マイクロサージャリー)



メリット

- 下垂などより自然な乳房を形成できる
- 術後のメンテナンスの必要性が人工物(インプラント)より少ない
- シリコン乳房インプラントに関連したリンパ腫やがんの発生の心配が無い

デメリット

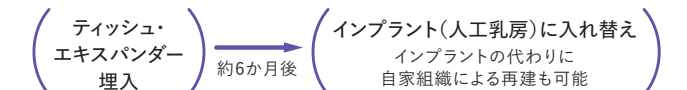
- 組織を取った部分に傷あとが残る
- お腹の組織を移植する場合、妊娠・出産を予定している人には適していない
- 体への負担が大きく、社会復帰までに時間がかかる

インプラントによる再建

二期的再建(エキスパンダー法)※2回に分けて手術を行う方法

●手術時間／2～3時間程度 ●入院期間／3～4日

エキスパンダー法とは、乳がん手術後にティッシュ・エキスパンダー(皮膚拡張器)を挿入し、皮膚を伸ばした後、エキスパンダーをインプラントに入れ替えて形成する方法



※ティッシュ・エキスパンダー:不足した皮膚を拡張させるためのシリコン製の器具です。

メリット

- 体への負担が比較的小さく、社会復帰が早くできる
- 乳房切除術の傷あとが残らない
- 乳がん手術後にある程度の膨らみがあり、徐々に大きくできるため喪失感が少ない

デメリット

- やや硬く、姿勢によって形が変化しない
- インプラントの変形や破損がないか等、定期的に検査を受ける必要がある
- インプラントは半永久的ではないため、10～20年程で入れ替えの必要性がある
- 稀にBIA-ALCL(プレストインプラント関連未分化大細胞型リンパ腫)が発生することがある